

2ページから続く
役割を担保するため、生産緑地の新たな指定基準を設け農地の保全を図ってまいります。

(4) 豊かな市民生活の実現と

利便性の向上を図るために

市民の文化・スポーツ活動の振興は、豊かな市民生活を実現するための重要な役割を担っており、市民ホールは、耐震工事のため一年間休館しご不便をお掛けしてまいりましたが、本年5月には工事の完了、8月には新規オープンします。

また、公民館も六丁目再開発ビル内に移転し、本年9月にはオープンするための準備を進めております。新しい公民館は施設の充実と面積がこれまでの2倍になり、市民の学習活動の拠点となるものです。名称も「まちだ中央公民館」と改めたいと思っております。

また今年、4年に1度のワールドカップサッカーが、韓国を会場に5月末日から始まり、これに合せて8月には、知事の障害者サッカー世界選手権大会が東京・神奈川を会場に行われます。町田市にもこの大会への協力要請があり、3試合ほど陸上競技場を会場に入れることになりました。多くの市民の方々の協力とご観戦をお願い申し上げます。

一方、新年度から学校が完全週

休二日制になります。そこで美術館・室内プールについては、毎週土曜日を小・中学生には無料で開放することにしました。

体育施設の予約は、電話でも出来るようになり、また、新規開設の公民館も自宅からの電話・パソコン・携帯電話での、施設の利用予約が可能となります。

また、市民センター等の市民部所管施設や社会教育施設、福祉施設などもこの方式に切り替えるため、市民の皆様のご意見を集約しながら現在、その実施に向けて準備を進めております。

さらに、戸籍事務の電算化を進めてまいりましたが、本年7月29日から本格的に稼働が始まり、戸籍の登録や証明書の発行業務等、処理時間の短縮が図られます。

現在国は本年8月全国一斉に導入を予定している、住民基本台帳ネットワークシステムを中心として、国・都道府県・市町村間をネットワークで結び、国と地方との情報やり取りを、従来の紙ベースからインターネットに切り替えることになり、市としてもIT技術を最大限に活用し、「電子自治



原町田六丁目再開発ビルがもうすぐ完成し、9月には公民館もオープンします

昭和47年(1972年)に、両駅統合を目指して始まった再開発事業は、11年の歳月を掛けて完成しました。これは、都の再開発事業完成第一号として大きな注目を集め、その後の事業展開に弾みをつける重要な役割を果たしました。町田市で4カ所目となります。六丁目市街地再開発事業も、本年夏には完成し、事業開始から実に30年の歳月を費やした中心市街地の整備もようやく一段落を迎えることが出来ます。これまで、本事業にご協力を下さった多くの関係者の方々に、改めて厚く御礼申し上げます。

都市計画道路3・4・11号線築



「街づくりモデル地区」で話し合う市民。その成果を参考に「街づくり条例」の策定作業が進んでいます

(5) 中核都市にふさわしい都市基盤の整備と

良好な住環境を実現するために

原町田地区は、小田急線とJR横浜線が交差する市内最大の中心市街地で、両町田の乗客数は年間8,770万人(平成10年度)を超え、都下第1位を誇っています。

昭和47年(1972年)に、両駅統合を目指して始まった再開発事業は、11年の歳月を掛けて完成しました。これは、都の再開発事業完成第一号として大きな注目を集め、その後の事業展開に弾みをつける重要な役割を果たしました。町田市で4カ所目となります。六丁目市街地再開発事業も、本年夏には完成し、事業開始から実に30年の歳月を費やした中心市街地の整備もようやく一段落を迎えることが出来ます。これまで、本事業にご協力を下さった多くの関係者の方々に、改めて厚く御礼申し上げます。



戸籍事務の電算化も7月には始まり、「電子自治体」の構築が進んでいます

昭和47年(1972年)に、両駅統合を目指して始まった再開発事業は、11年の歳月を掛けて完成しました。これは、都の再開発事業完成第一号として大きな注目を集め、その後の事業展開に弾みをつける重要な役割を果たしました。町田市で4カ所目となります。六丁目市街地再開発事業も、本年夏には完成し、事業開始から実に30年の歳月を費やした中心市街地の整備もようやく一段落を迎えることが出来ます。これまで、本事業にご協力を下さった多くの関係者の方々に、改めて厚く御礼申し上げます。

で、天井を自然光が採り入れられるガラス張りにも変え、外壁を塗り替えて今より明るい雰囲気が出るよう改修工事を行います。

また、来街者がゆとりと買い物等を楽にするように、「中央通り」モル化事業を行います。

基本計画に副次核として位置付けている鶴川駅周辺は、現在駅北口の区画整理事業が順調に進められ、昨年の工事で駅前の車の流れは、スムーズになったと喜ばれております。15年度の事業完成に向けてさらに努力してまいります。

一方、地域の方々との永年の願望となっておりました相原駅の改良工事は昨年未着工式が行われ、相原駅田通路・橋上駅舎化工事が15年度完成を目指して始まり、これに弾みを相原駅周辺の街づくりに結びつけていくものと期待されています。



JR町田駅と町田街道を結ぶ都市計画道路3・4・11号線も完成に近づいています

(6) 新たな行政システムの

確立を目指して

日本の社会は、大きな変革を迫られています。町田市においても1996年をスタートとする町田行政改革プラン「オープンイマ21」を策定し、取り組んでまいりましたが、完成から20年が経ち、汚れ・雨漏り・明るさなどの面で改善が求められております。そこで、14・15年度の二カ年事業

減や人減らしを目的とするのではなく、21世紀にふさわしい新たな行政システム構築を目指すものとして発表しました。本プランも策定から5年が経過し、これまでに一定の成果が上がったものと自負しておりますが、この間、地方自治時代の到来など、大きな社会状況の変化があり、見直しの必要が生じてまいりました。そこで、昨年、公募市民・学識者を交えた「行政改革審議会」をスタートさせ、「市民の目線に立った、行政運営の目標」を柱とする、新たな大綱づくりに取り組むこと、本年中にはその結果がまとまらねばならないと決まっております。

次に下水道事業については、現在普及率が80%を超えるまでにまいりました。下水道の整備に時間を要する地区については、合併処理浄化槽設置の補助制度を設け、水質の普及に努めてまいりました。この結果、この補助制度を利用した世帯は2万3千戸に達し、市内全域の水質率は97.6%に達しています。引き続き100%に向けて努力してまいります。

また、行政の透明性の確保と説明責任の明確化は、避けて通れない重要な課題です。そこで、昨年学識者を中心とする「行政評価委員会」を組織し、町田市における行政評価のあり方について検討していただきました。そこで出された意見に基づき、各課・事業をモデルに評価調査を作成し、その結果を冊子にまとめることにより、インターネットでも公表し、広く市民の皆様のご意見を承っております。

また、私は今回の市長選挙において、市民の皆様から10項目の約束をいただきました。しかし、これらは私が3期12年の任期の中で取り組んできたものが殆どで、今任期中にそれらの内容をさらに充実させ、私の掲げた公約を市民の方々が実感として受け止めていただけるよう施策の展開を図ることが最大の責務であると考えております。

先づ、市民サービスの向上と事務の効率化・公平性を図る事を目的に、事務処理のマルチアル化を進め、その成果を内外に公表するため、国際標準規格「ISO 9001」の認証取得を市民課窓口で進めており、15年申すには取得出来る予定です。

最後に、21世紀を迎え、最も期待していた私達にとって、昨秋アメリカで起きた悲惨な同時多発テロ、国内でのBSE(牛海綿状脳症)騒動など内外ともに人々の閉塞感をおおはかりで、一向に明るい兆が見えてまいりません。私はこの選挙を通して多くの方々のご意見を直接聞かせていただきました。そのお一人お一人の声のどれれも、現在の社会状況を映し出しているものばかりでした。私は、これらの声を重く受け止め、今後の市政運営に是非反映させていきたいと考えております。

先づ、市民サービスの向上と事務の効率化・公平性を図る事を目的に、事務処理のマルチアル化を進め、その成果を内外に公表するため、国際標準規格「ISO 9001」の認証取得を市民課窓口で進めており、15年申すには取得出来る予定です。